

【校章】



百花繚乱

一人一人の花を咲かせよう！

校訓



自主 創造 友愛

学校教育目標

「ふるさとを愛し 未来を切り拓く 生徒の育成」

佐世保市立世知原中学校 学校だより 第4号

令和6年5月20日(月) 校長 市田 恒明

世知原中HP



ウォーターサーバーが設置されました！

本年度、熱中症予防対策の一つとして佐世保市内の小・中学校にウォーターサーバーの設置が進められています（佐世保市教委学校保健課）。本校には5月15日（水）、生徒用玄関内に設置されました。

これは、環境教育の一環としても設置されています。つまり、生徒が水筒（マイボトル）を持参することにより、ペットボトルの使用が減少し、ひいてはごみの削減、環境負荷の軽減につながるという意識の向上を図るものです。生徒の皆さん、水筒持参が環境保全につながることを理解しておきましょう！

これから暑さが増していく中、赤組の応援合戦でも言っていた一番大事なこと、「水分補給」をしっかり行い、熱中症の予防に努めてほしいと思っています。



簡単に言えば「浄水器」です。市教委のご配慮に感謝いたします。

世知原中の樹木について調べてみました。

いつも何気なく見ている校舎前の樹木。いつ植えられたものだろうと興味がわき、コケにまみれた石碑を江口管理員とともにたわしで削りながら、わかる範囲で確認してみました。（久しぶりに社会科の教員としての血が騒ぎだした感じです。）



正面玄関前の円形の花壇は、昭和40年度、第19回卒業生（今年度74歳になる方々）による卒業記念の植樹。



左側の樹木は、昭和42年5月、創立20周年を記念して、初代校長であり世知原町教育長でもあった世知原次郎先生による植樹でした。

右奥は昭和58年3月、第36回卒業生による卒業記念の植樹。（今年度、57歳になる方々）

校訓の石碑は、平成元年3月、第42回卒業生からの寄贈されたものです。

（今年度、51歳になる方々）



私としては校庭に桜があるといいなと思っていますので、今年の卒業生の記念に植樹してみようかと考えているところです。（特色ある教育活動費にて）



←中央左の「考える人」の像は昭和42年3月、第20回卒業生による卒業記念。(今年度、73歳になる方々)
他の樹木は、昭和56年3月卒業記念とあるので、昭和55年度の卒業生(第34回生)の植樹。来年、ご還暦の方々ですね。



←影が多くてわかりづらいのですが、ここには「松」と「もみじ」が植樹されており、石碑が3つあります。
石碑の一つには、昭和31年卒業記念、第9回生とあります。(今年度、69歳になる方々。来年は古希を迎えられる方々ですかね。)
もう一つの石碑は創立10周年の記念として、初代校長である世知原次郎先生による植樹です。
最後の石碑には、「国土緑化功労林野庁長官表彰記念」とあり、石碑の裏に「明治100年記念」とあることから昭和43(1968)年のものでしょう。



←ここには石碑が2つあり、一つには第10回卒業とあるので、昭和31年度の卒業生による植樹。
もう一つは平成元年8月に第12回卒業生(昭和33年度卒、今年66歳になられる方々)が卒業30周年の記念として植樹されたものです。



←体育館正面入り口の横には、第10回生(昭和31年度卒、今年度83歳になる方々)による35周年記念という石碑があります。(ということは卒業生の方々が50歳の時のものでしょうか。)もみじやつつじの植樹、そして巨石のモニュメントが設置されています。

世知原中の伝統と卒業生の方々の強い母校愛を改めて感じています。

世知原の豊かな自然～ヒヨドリ？～

植樹された樹木の写真を撮っていると、上の方からピヨピヨピヨピヨと鳥の鳴き声が聞こえ、見上げてみるとヒヨドリ？(イソヒヨドリ?)らしい鳥が二羽そろって鳴いていました。石碑をじっと見たり、写真を撮ったりしているこの人は何者なんだろうと思われているのかなと感じつつ、美しい鳴き声に癒された私です。

(先に言いますが、理科の教員ではないので、鳥の名前が違っていてもご了承ください。)

